

◆◆◆ラジオ体操◆◆◆

■今日から子どもたちは夏休み。

私が小学生だった昭和40年後半から50年のはじめのころ。

夏休みの朝と言えばラジオ体操でした。

朝一番、大音量で流れて来るあの歌声、歌詞を私は今でもはっきりと覚えています。

ラジオ体操の歌

新しい朝が来た 希望の朝だ
ラジオの声に 健やかな胸を
それ 一 二 三

喜びに胸を開け 大空あおげ
この香る風に 開けよ

■ラジオ体操の放送が始まったのは1928年

とありますからかれこれ90年以上も

昔のことになります。

夏休みのラジオ体操、私が子どもの時代は6時30分にスタート。

生放送に合わせて夏休みの初日から終わりの日まで

びっしり行われていました。

寝坊してあわてて広場に向かう途中、

「全国の皆さん、会場の皆さん、おはようございます！」と妙にテンションの高い声が聞こえてきます。続いて「ラジオ体操の歌」が流れはじめ、まずい遅れると冷や汗…。

体操が終わると6年生がラジオ体操カードにハンコを押してくれます。

下級生の頃はそんな6年生がとてもまぶしくて。

早く自分も6年生になりたい、みんなにハンコを押したい、と思ったものでした。



■時が流れて令和の世。

ただでさえ先細っていたラジオ体操事情。

新型コロナウイルス感染症対策が続く今、

あの「声」を、すがたをこしばらく見聞きしていません。

カードを配ると「何これ？」という子もいるようです。

それでも。

夏休みのラジオ体操には、

▼規則正しい生活習慣づくり

▼代謝や脂肪燃焼アップ、筋力、体力づくり

▼地域の子ども、大人との関係、つながりづくり

といったよい効果、働きがあります。

ラジオ体操、このままなくなってしまうのはもったいないと思うのですが…。

